

みずほの丘の希望

〒354-0018 富士見市西みずほ台 3-14-6 TEL/049-252-4145 FAX/049-255-0233

踏んでいた 校庭の白線 気づいて ハッとした いつでも ここが スタート ライン

富士見市立西中学校

令和7年度 第47回

体育祭

自分が負けたと思わない限り、
負けることはない。願いを込めたてるてる坊主
勝ち負けを決められるのは、
自分だけだ。

真の勝者は、
この一カ月余り、
色を共にした仲間と
夢を見ることができた君だ…。

…友と見た夢は、明日からの希望となる！
がんばった…真の勝者はみんなだ



てるてる坊主…

令和 7 年 5 月
~~17 日~~ (傘) ➡
 20 日 (火) ☀

「天気神様は…私たちを見放さなかった…。少し暑かったけど」

天気神様は...私たちを見放さなかった...少し暑かったけど

燃えさかる5色の炎

GOALへ突き進め!!

年度体育祭スローガン

表紙 (1年)

GOAL
令和7年度体育祭スローガン
プログラム表
皆さん(み)

度体育祭スロ
プログラム表紙
片見朱莉さん(みとせ1年)

闘魂の団長

机の上にさりげなく置かれていた。

完全制覇!緑団

熱血！赤団！

海よ～

青空に映えた青团

よっ!
体育委員長

きらめきの黄団

「有頂天外」「暮色満面」「破顔一笑」「歓天喜地」…どんなに歓喜を現す言葉を駆使したとしても、生徒の機微を現すことはできない。生徒をここまで「狂喜乱舞」させ、明日からの毎日に「意気軒高」と弾みをつける。日常生活の数十倍も「一意専心」に集中させ、みんなを「心滿意足」に充実させる…。体育祭という行事に、なぜ生徒たちはこれほどまで「無我夢中」になれるのであろうか…。

走り梅雨のような天気により、実施が3日も繰り下がった体育祭であった…。生徒からは前日より、「校長先生、絶対やってください!」「雨のなかでも楽しいです!」と声をかけられた。しかしながら現実水泳大会(?)ができるほどの大雨…誰が雨男か? 雨女か? は追求しないが…。そして舞台は一転、大雨の水地獄(?)から、気温30℃を超える灼熱地獄に場面転換した…。

■1週間も前から喉痛に耐えながら、声を枯らしている生徒がいた。■「楽しい♪楽しい♪」と笑顔を絶やさず、気分を盛り上げてくれる生徒がいた。■砂埃に顔を真っ黒にして、全力で校庭を走り続ける生徒がいた。■腰の痛みを我慢しながら、仲間が跳びやすいように大きく大きく長縄を回し続ける生徒がいた。■勝利を目指し、先生にしつこくしつこくアドバイスを仰ぐ生徒がいた。■ケガの痛みにも耐えつつ練習に参加している生徒がいた(「無理するな」と言っても「大丈夫です」しか返ってこない)。■疲れていると思うが…「こんなの全然疲れません!」と意地を張る生徒がいた。団練習最終日(5/15)、目を潤ませている生徒が少なくなかった…。練習がそれだけ充実していた「証」なのであろう…。これも体育祭の大きな目的のひとつだ。「みんなとつながる充実した時間が3日も増える」。そんな前向きな思考で生徒も職員も、3日間を乗り切ってくれた…本当に、頼もしい限りだ!

「体育祭の魅力は…?」。数名の生徒にぶつけてみた。すべての答に共通のキーワードがあった。「〇〇〇で走るから…」「〇〇〇で応援するから…」「〇〇〇で勝ちたい」「〇〇〇、頑張ってるから」。…〇〇〇に当てはまる言葉は…「みんな」だ。体育祭、誰一人手を抜かず、みんなで力を尽くすから、楽しいんだ。…みんながいるから学校なんだ!体育祭を通して、改めて学校の素晴らしさを確認した。競技としての体育祭、順位は着く。しかしながら真の勝者は…みんなであり、みんなで跳び、みんなで叫び、みんなで笑い、みんなで泣いた…富士見市立西中学校393名のみんなだ!

この2025、5.15、20という日…みんなで見ることのできた「夢」は現実となり、明日からの中学校生活の希望となった。体育祭を経て、更にバージョン・アップした諸君に期待する。

体育祭下校時「校長先生、私西中大好きだよ」と声をかけてくれた生徒がいた。「体育祭、めっちゃ楽しかった!」と叫び走り去る生徒がいた。生徒諸君、西中は楽しいか? 大好きか? 誇りに思うか?

第47回体育祭、みんなお疲れ様…、今日からまた頑張ろうな…。中間テストまで、あと8日…。

令和7年度第47回富士見市立西中学校体育祭全成績

五月の薫風は、紛れもなく新緑に吹き抜ける「緑風」だった。追いつがる「赤色の風」を振り切り、緑団…文句なしの完全制覇！お見事…！おめでとう緑団！

勝利を手にした緑団よ…。うぬぼれるな、より謙虚に、真摯に生きろ。残り10カ月の西中を覇者として、引っ張ってほしい。手が届かなかった各団よ…。敗戦の悔しさや後悔や無念…時にマイナスのエネルギーは、次への成長の大きなステップとなる。このままで終わるのか…？次に踏み出すのか…？決めるのは自分自身だ！

総合結果	優勝	準優勝	学年優勝
1学年	緑団(1-1)	赤団(1-3)	1年1組(緑)
2学年	緑団(2-4)	赤団(2-3)	2年4組(緑)
3学年	緑団(3-1)	赤団(3-2)	3年1組(緑)

	1学年	2学年	3学年
ムカデ競争	赤(1-3)	緑(2-4)	赤(3-3)
台風の目	緑(1-1)	赤(2-3)	緑(3-1)
翔んで埼玉	青(1-4)	青(2-1)	緑(3-1)
400MR女子	緑(1-1)	緑(2-4)	赤(3-3)
800MR男子	青(1-4)	青(2-1)	赤(3-3)
ビーチフラッグ *1位の回数	黄2組1回 赤3組2回 青4組1回	青1組2回 黄2組1回 緑4組1回	赤3組3回 黄4組1回
スウェーデンR	黄(1-2)	黄(2-2)	黄(3-4)
綱引き	赤(1-3)	赤(2-3)	赤(3-3)
長縄跳び	黄(1-2)	緑(2-4)	黄(3-4)
	みとせ回数/90回		
二人三脚障害物R	緑(1-1)	青(2-1)	黄(3-4)
全員R	赤(1-3)	青(2-1)	赤(3-3)

「負けてしまった…」
そんな時は、この名言しかないだろ…
「負けたことがある」というのが
いつか、大きな財産になる

『SLAM DUNK(集英社)』/山王工業高校 堂本監督

(自分への)悔しさ、憤り、怒り、後悔は、
時に、明日からの人生の「糧」となる…。

灼熱を予感させる朝日



堂々の入場行進!

生徒会!威風堂々!

いいか!気合い入れろよ!



優勝4人組!

タイムは俺たちが計る!



旗はわたさない!



心ひとつに!1・2・1・2!



勝負事

だ!必ず勝敗はつく…。社会に出れば現実はずっとシビアだ…。体育祭の勝ち負けなんか小さい小さい。…とは思いますが君たちは真剣に!直向きに!ストレートに!体育祭に取り組んだ…。その真摯な姿を見ていた私たち大人は、圧倒され感動した。「大切なのはプロセス、結果はそれほどでも…」などとよく言うが…。君たちを見ていてそんな軽口も言えなくなった。やっぱり勝ち負けは重要で、同じプロセスを踏んだのであれば、勝つに越したことはない…。やはり人間は勝利や成功を目指さなくては、成長の止まった、ただそれだけの人間になってしまう…。君たちの真摯な姿を見て、そう再考した。

ただ「負け」は、時に人を優しくする。強くする。勝ち続けた人の気持ちこの体育祭、勝ち負けなんかより大切なことに君たち自身が気づき、気づかせてくれた。どうもありがとう…。

人間はさみしいだ!負けがわからない。



あきらめんなよ!あきらめんなよ、お前!!
どうして、そこでやめるんだ、そこで!!
もう少し頑張ってみろよ! ダメ、ダメ、ダメ!
あきらめたら!

あきらめがわるい…
君たちへの
最高の誉め言葉だ!

跳んで!跳んで!跳んで!
走って!走って!走る!

裏面へつづく

一人で見る「夢」は、「夢」でしかない。
みんなで見る「夢」は、現実となる。

オノ・ヨーコ(芸術家)

長縄跳…、全員リレー…、
どの色団も意地をかけた
体育祭のメイン種目だ!
この1カ月、学級の、学年の、全校のみんなで、
いい「夢」を見ることができたか?
みんなで見た「夢」は、
今日からの現実を生きるエネルギーになる!
明日からの未来を生きる希望になる
…と私は信じて疑わない…。
「いい夢見たか…? あばよ… (俳優/柳沢慎吾のギャグ一部改訂)」

バトンは友情をつなぐ!

腰、痛てえ~!

任したぞ! 任して!

こっち!こっち!こっち~!

俺は助けてもらわねえ~と、
生きていけねえ~自信がある!!!

モンキー・D・ルフィ(『One Piece』)

みとせ長縄…全校が応援しました!

俺たちが団長を支える!

アゲ!アゲ!ホイホイ!

人は一人では生きていけない…。
だから、人は集まることから始まり、
人が一緒にいることで進歩があり、
人が協力することで成功をもたらす。
…のだと思う。
応援しているとワクワクしないか!?
応援されるとドキドキしないか!?

青団子!三兄弟!

美術部、最高のポスターです

周りのこと思えよ、
応援している人たちのこと
思ってみろって！
あと、もうちょっとのところなんだから！

松岡修造（元プロテニスプレーヤー）

百足競争
台風之目
飛翔埼玉
弾丸棒渡
海岸旗取
瑞典棒渡
力持綱引
二人三脚
完全燃烧
粉骨碎身



楽しむことが、勝利への近道…。
楽しむことが、成功への近道…。
楽しむことが、感動への近道…。
楽しむことが、幸せへの近道…。

第47回体育祭、

諸君は心の底から楽しむことができたのか…。

膝を擦りむいた人…たくさんいました。



GOAL! ゴール!



4名の応援団長諸君!ありがとうございます!

一念発起は誰でもする…
努力までならみんなする…
「がんばる」など、誰でも言える…
そこから一步踏み出すためには、
努力の上に、
「辛抱」という「心棒」を立てろ!
この「心棒」が、
今日からの君の人生を支えてくれる…
もし君に、
「心棒」が立たなかったのなら…
第47回体育祭は、
多分〇〇だったのだと思う…。
さあ、今からの君たちが楽しみだ!

緑団優勝おめでとう!これからは勝者として学校を支えろ!



誰よりも、高く跳べ!

生徒会を中心に各係もがんばりました。



延期となり、平日開催にもかかわらず、大勢の保護者・地域の方々にご来校いただき心より、感謝申し上げます。生徒は全力を尽くし、本当の本気の意味を徐々に理解しつつあります。これも地域の皆様とご家庭の支え、そして本校職員の本気の指導の賜物であると自負しております。行事は見届けが大切…。今後の西中夏・秋・冬物語ご期待ください。ありがとうございました。